

令和2年度「奈良県文化財保護功労者」について

1 受賞者
(個人)

(敬称略・年齢は令和2年11月1日現在)

氏名(ふりがな)	功 績 等
松岡 嘉平治 (まつおか かへいじ)	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良市在住(99歳) ・国の重要無形民俗文化財「奈良豆比古神社の翁舞」の保持団体である奈良豆比古神社翁講の代表 ・昭和5年 翁舞で千歳(子役)を務める(現在に至る) ・昭和52年 奈良県指定無形民俗文化財となる ・平成6年 奈良豆比古神社翁講の代表に就任(現在に至る) ・平成12年 国の重要無形民俗文化財となる ・地域での翁舞の活動のみに留まらず、各種事業への協力や外部への出演活動を通じて会員や地域への知識の継承や指導を行い、意識を高め後継者の育成にも力を入れ、また同神社に伝わる多数の古面や装束の保存と公開についても熱心に活動し、地域の文化財の保護と普及啓発に努めた
長田 光男 (おさだ みつお)	<ul style="list-style-type: none"> ・大和郡山市在住(95歳) ・平成6年4月 大和郡山市文化財審議会委員(平成9年3月まで) ・平成9年4月 大和郡山市文化財審議会会長(令和2年5月まで) ・平成20年4月 川西町文化財保護審議会会長(現在に至る) ・平成6年より26年間の長きにわたり、大和郡山市文化財審議会委員として、平成9年からは会長として、広く歴史学の分野から指導的な役割を果たし、市指定文化財の指定など文化財保護行政を牽引 ・平成20年より11年間にわたり、川西町文化財保護審議会会長を務め、文化財保護にかかる指導や助言を行い、町の文化財保護行政を牽引 ・昭和50年より奈良市や大和郡山市などの公民館講座や滋賀大学・奈良教育大学等の講師を務め、教員経験や戦争体験等の知識を活かした講座を行った
井口 章 (いぐち あきら)	<ul style="list-style-type: none"> ・天川村在住(67歳) ・平成16年7月 天川村文化財保護委員(現在に至る) ・平成31年3月 洞川郵便局 郵便局長 定年退職 ・平成31年5月 洞川財産区議会議員(現在に至る) ・平成16年7月より現在まで、天川村文化財保護委員として、16年の長きにわたり、村指定文化財への登録・指定や保存活動に関する具申・助言等を行うなど、村文化財行政を牽引 ・平成17年より天川を学ぶ会の一員として歴史・文化を学習し、ボランティアガイドとして、文化財及び観光名所等を案内するなど、文化財の普及啓発に貢献

(団体)

団体名（ふりがな）	功 績 等
文祢麻呂史跡顕彰会 （ふみのねまるしせきけんしょうかい） <会長 古川 洋一> （ふるかわ よういち） <会員 41世帯>	・昭和57年 宇陀市榛原八滝地区にて設立（39年目） ・設立以来、国の史跡に指定されている文祢麻呂墓の草刈りや清掃活動等の維持・管理などの奉仕活動に尽力 ・文祢麻呂将軍が亡くなったとされる月である9月の秋分の日には文祢麻呂将軍祭を地元を挙げて執り行い、文化財の保護・普及啓発に貢献
市尾墓山古墳守る会 （いちおほかやまこふんまもるかひ） <会長 中垣 宗久> （なかがき むねひさ） <会員 43名>	・平成22年 高取町市尾地区にて設立（11年目） ・設立以来、国の史跡に指定されている市尾墓山古墳の週2回の巡視や草刈り、清掃活動等の維持・管理などの奉仕活動に尽力 ・高取町内の古墳や遺跡の見学会や勉強会を実施し、高取町の文化財の保護・普及啓発に貢献

2 感謝状贈呈式

- 日 時 令和2年11月2日（月） 13:00～13:15
- 会 場 奈良県庁主棟5階 知事室（奈良市登大路町30）